

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

(単位:円)

実施計画 No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	事業費 (決算額)	うち 臨時交付金 充当額	事業実績	効果検証	事業担当課 (※事業実施時点)
3	公共施設等便所改修事業(当初予算分)	①多数の市民が集まる公共施設等のトイレにおいて、新型コロナウイルス感染症対策のため、手洗器の自動化やトイレの洋式化や乾式化を実施 ②手洗器の改修および和式や湿式の改修 ③市民ホール	R3.4	R3.12	18,324,900	18,000,000	小便器16基、腰掛便器25基および手洗い27基を自動水栓化し、和式便器4基を洋式化・自動水栓化した。 また、床面8箇所を乾式清掃化した。	トイレの洋式化および手洗いを含めた自動水栓化により、飛沫を防止することで感染拡大防止に繋がった。 また、床面の乾式清掃化により、濡れた床面でのウイルス増殖を抑えるとともに、清掃時の飛沫を抑制し、感染拡大防止に繋がった。	文化振興課 (市民ホール)
4	公共施設等便所改修事業(補正予算分)	①多数の市民が集まる公共施設等のトイレにおいて、新型コロナウイルス感染症対策のため、手洗器の自動化やトイレの洋式化や乾式化を実施 ②手洗器の改修および和式や湿式の改修 ③公民館7箇所	R3.11	R4.2	10,584,200	10,000,000	【加茂公民館】 トイレ1基を洋式化、手洗い5基を手動水栓から自動水栓へ変更した。 【林田公民館】 トイレ1基を洋式化、手洗い7基を手動水栓から自動水栓へ変更した。 【府中公民館】 トイレ1基を洋式化、手洗い5基を手動水栓から自動水栓へ変更した。 【松山公民館】 トイレ1基を洋式化、手洗い4基を手動水栓から自動水栓へ変更した。 【川津公民館】 トイレ2基を洋式化、手洗い6基を手動水栓から自動水栓へ変更した。 【西庄公民館】 トイレ2基を洋式化、手洗い6基を手動水栓から自動水栓へ変更した。 【南部公民館】 トイレ2基を洋式化、手洗い9基を手動水栓から自動水栓へ変更した。	トイレの洋式化および手洗いの自動水栓化により、飛沫を防止するとともに、手洗いの際に触れる箇所が減ったため、感染拡大防止に繋がった。	生涯学習課 (公民館)
5	テレワーク端末等整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策のため、職員のテレワーク等や会議等のオンライン化ができる端末等を整備したことに伴い、手で触れる必要及び紛失する恐れのあるICカードでの認証から顔認証へ変更 ②顔認証システムの導入	R3.12	R4.3	17,521,350	17,000,000	既存の情報系システム内に認証サーバを設置し、多要素認証システムを構築した。 また、800名分の顔認証登録および500台を上限にクライアントにおいて利用できる環境を確保し、対応可能なクライアントに設定を行った。	ICカード認証から顔認証への移行で、セキュリティやテレワーク等の利便性の向上が図られた。加えて、手で触れる機会の減少や会議等における3密の回避につながり、感染拡大防止に繋がった。	政策課 (プロジェクト推進室)
7	消防署感染防止対策強化事業	①コロナ患者の搬送業務を担う消防本部での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、抗菌塗装や非接触などによる感染防止を実施 ②執務環境改善整備費	R3.10	R4.3	14,411,760	14,000,000	消防本部の共用部分である廊下、階段部分の壁、天井を抗菌効果のあるものに塗り替え、床タイルを抗菌床タイルへ張り替えた。照明器具を照度センサー、人感センサー付きへ変更した。 1階部分の扉を抗菌仕様扉へ取り替え、その他の扉はドアノブを握り玉式からレバー式へ取り替えた。 通信指令室のエアコンを抗菌フィルター付きエアコンへ変更した。	不特定の来庁者が利用する部分の抗菌仕様や設備の非接触により感染拡大防止に繋がった。また、職員が24時間常駐し、換気を実施しづらい通信指令室のエアコンを抗菌フィルター付きの物へ変更し感染拡大防止に繋がった。	消防
9	公立小中学校密着改善事業	①公立小中学校において給食の配膳時に密になりやすい環境となっている配膳台について、新型コロナウイルス感染症対策のため、給食配膳台の増設を実施 ②給食配膳台の増設 ③市内小中学校	R4.2	R4.3	3,069,000	2,900,000	市内小中学校11校に、給食配膳台を計62台導入した。	各教室における給食の配膳を2箇所で行うことで、密集を防止し、感染拡大防止に繋がった。	教育総務課
10	坂出市プレミアム付商品券事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受け経営が悪化した市内事業者への支援および市民生活への経済的支援と消費喚起 ②商品券のプレミアム分50,000,000円、販売委託料10,053,128円 ③販売対象：市民 使用店舗：市内店舗限定	R3.8	R4.3	59,777,378	59,000,000	総計375者に取扱店舗として参加いただき、プレミアム率100%、発行総額1億円分の商品券を発行した。	消費喚起効果額は99,448,500円であり、新型コロナウイルス感染症の影響により落ちこんだ消費の喚起および市内事業者の支援の一助となった。	産業課 (企業活力推進室)
13	感染症検査体制強化事業	①新型コロナウイルス感染症拡大を受け、検査体制の更なる拡充を図るため、他の医療機関からの紹介等によるPCR検査に対応するために検査機器を導入した医療機関に対し、検査機器の購入費用を補助 ②補助金：PCR検査機器429,000円×5台＝2,145,000円 ③坂出市医師会	R3.12	R4.3	2,145,000	2,000,000	新型コロナウイルス感染症の検査体制を継続的に確保するため、坂出医師会に対し、PCR検査機器購入5台分に対する補助金を交付した。	PCR検査機器を市内の5医療機関に設置し、検査体制を拡大することで、迅速な検査の実施、感染の早期発見・早期診断が可能となり、家庭や職場、施設、地域での感染拡大の防止に繋がった。(外注で検査をした場合、検査結果報告が翌日～2日後となっていたが、設置した検査機器では検査結果報告が1時間後にできていたため)	けんこう課

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況及び効果検証

(単位:円)

実施計画 No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	事業費 (決算額)	うち 臨時交付金 充当額	事業実績	効果検証	事業担当課 (※事業実施時点)
17	坂出市事業継続給付 金支給事業	①「香川県営業時間短縮協力金(第7次または第8次)」もしくは「香川県営業継続応援金(第3次)」の支給を受けた市内事業者に対して、市独自の上乗せ支給を実施 ②③ 上記いずれかの協力金・応援金の支給を受けた市内事業者に対し、1事業者当たり上限10万円の給付金を支給	R3.12	R4.3	31,658,070	30,147,000	香川県営業時間短縮協力金(第7次、第8次)支給決定者への支給件数96件、香川県営業継続応援金(第3次)支給決定者への支給件数132件であった。	アフターコロナを見据え、前向きに事業継続に向けて頑張る事業者の事業継続の一助となった。	産業課 (企業活力推進室)
18・19	子育て世帯への臨時 特別給付金(単独 分)	①子育て世帯臨時特別給付金において所得制限により国庫補助対象外のため給付対象外となった世帯などについて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援するために単独事業として給付を実施 ②③ 令和3年9月分の児童手当(特例給付)支給対象となる世帯など国の補助対象外世帯に対し、子ども一人当たり10万円の給付金を支給	R4.1	R4.3	39,778,764	38,938,000	支給児童数:395名	国の制度における所得制限を撤廃したことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、より多くの子育て世帯への経済的な援助に繋がった。	こども課